

翔

SHO

TAKE FREE

9

2023 No.614



独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター 広報誌

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院・日本医療機能評価機構認定病院



■今月の PICKUP

10月はピンクリボン月間

■REPORT

10月はピンクリボン月間
訪問看護ステーション災害訓練・防災訓練
地域医療研修(小国公立病院)
歯科研修
リハビリテーション実習

出前講座「天使のちえぶくろ」
退職医師挨拶
ラフティング部レポート
ツアーオブ九州 2023「人吉ステージ」
新任紹介

10月はピンクリボン月間です

Pink Ribbon Festival



ピンクリボンとは、乳がんについて正しい知識を広め、乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝える活動の世界規模のシンボルマークです。乳がんは、最新の統計では女性の「9人に1人」が罹る病気です。乳房に関心を持ち、自分やご家族の身体、命を守りましょう。

ブレスト・アウェアネスという言葉をご存知ですか？ブレスト・アウェアネスは、「乳房を意識する生活習慣」のことです。具体的には、4つのポイントがあります。

①自分の乳房の状態を知る。

日頃より、入浴時や着替えなどで乳房を触る、見ることで普段の状態を確認しましょう！

②乳房の変化に気を付ける。

乳房の変化では、しこり、皮膚のくぼみやひきつれ、乳頭からの分泌物、乳頭や乳輪のびらんなどがないか確認しましょう！

高齢な方、介助が必要な方は、家族の方がチェックして早期発見が出来るよう協力をお願いします。

③変化に気づいたらすぐに医師に相談する。

しこりや、皮膚のひきつれに気づいたら、病院に受診しましょう！

④40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける。

市町村で検診のクーポンなどの配布もあります！

遺伝性乳がんの場合、40歳未満で発症することがあります。家族、親戚の中に乳がん、卵巣がんにかかったことがある方がいらっしゃったら、40歳前から検診を受けることをお勧めします。

性別関係なく毎日の生活の中で、乳房を意識し変化があれば病院に受診することが、早期発見、早期治療につながります。



はじめよう！セルフチェック

[https://](https://www.j-posh.com/cancer/mammacheck/)

www.j-posh.com/cancer/mammacheck/

認定NPO法人

J.POSH 日本乳がんピンクリボン運動



当院では、ピンクリボン活動「あなたのおっぱい守り隊」としてブレスト・アウェアネスを 啓発していきたいと思ひます。

乳がん看護認定看護師 地下 奈緒

訪問看護ステーション災害訓練実施

～ 介護・医療利用者支援 もしものときどう動くか ～

昨今、日本でも気候変動の影響で大規模災害が多く発生するようになりました。突発的な環境の変化や不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、また中断しても可能な限り短い時間で復旧させるための方針が、厚労省より業務継続計画（BCP）として施行され、2024年4月からはBCP策定が義務化されます。

今回、9月13日に熊本県訪問看護ステーション連絡協議会主催の災害訓練が行われました。訪問看護ステーションごとに災害に対する意識向上や、ステーション同士での災害支援の共同を目的とし、スタッフ全員が報告体制を理解し、対応できることを目標に実施されました。



ブロック長への現状報告を行っています



訓練は「熊本地震発生、球磨人吉も震度7の地震が発生した」という想定で、球磨・人吉ブロックの訪問看護ステーション14施設が参加し、災害マニュアル（※）に基づき実施されました。利用者の多くは寝たきりや独居の高齢者で、地域に点在し広域的な災害が発生した場合、連絡さえ困難になります。各訪問看護ステーションの連携と、もしもの時「どう動くか」一人ひとりが日頃から防災対策を考え行動することで、利用者の安全確保と切れ目のない訪問看護が提供できると考えます。

※2022年度版災害対応マニュアル等
（熊本県訪問看護ステーション連絡協議会）
<http://www.kumamoto.med.or.jp/houkan/kanrisyakai.html>

人吉医療センター附属訪問看護ステーション
久保田 良美

人吉医療センター 災害実動訓練 病院フェスティバルのご案内

2023年10月15日午前8時から人吉医療センター災害実動訓練を行います。

当日は、騒音及び正面玄関、本館1、2階を主に使用するため、入院中および来院の皆様にご迷惑をおかけ致しますが、ご理解ご協力の程宜しくお願い致します。

また、訓練後には、当院敷地内において第15回人吉医療センターフェスティバルを開催します。どうぞ皆さままでおいで下さい！



JCHO人吉医療センターフェスティバル実行委員会
☎0966-22-2191

第15回 病院フェスティバル

令和5年10月15日（日）12:00～15:30

■屋外特設ステージ 12:00～

人吉市立第一中学校吹奏楽部

REALIZE ENTERTAINMENT

人吉よさこい銀翔会 人吉笑福会ひょっとこ踊り

和太鼓一期一会 シルバースコップ三味線隊

健康体操/3B愛好会 こどもメッセージめりえ表彰

＊クイズラリー（綿菓子プレゼント/提供：人吉ライオンズクラブ）

＊販売：カレー（地域協力会）、屋台（どきやんが先番隊）他

＊お楽しみ抽選会

■エールを贈るコンサート 13:10～

（アンサンブル プリエール）

病院フェスティバルご来場の皆様へ

【感染対策について】

- ・発熱等、体調不良の症状がある方はご来場をお控えください。
- ・咳エチケット、適切な手指消毒にご協力ください。
- ・屋内ではマスク着用にご協力ください。

【お楽しみ抽選会について】

- ・抽選券をフェスティバル受付でお渡しします。（おひとり1枚）
- ・抽選会は14:55から屋外特設ステージで行います。

【「日曜日に特定健診を受けましょう」について】

- ・事前にご予約された方が対象です。
- ・場所は予防医療センターです。

地域医療研修 (小国公立病院)

7月24日～8月25日



小国公立病院は、医師数8名、病床数73床のへき地医療拠点病院です。また、地域のかかりつけ医としての役割もある病院です。

地域医療研修では、外来診療がメインでした。初日からカルテの使い方もあまりわからない状態のまま外来診療を行いました。周りの方々の助けもあり、徐々に慣れていくことができました。

初診時には診断がつかなかったり、他病院への転院搬送が必要であったりする症例もあり、様々なことを経験することができました。



退勤後には、黒川温泉や杖立温泉へ行ったり、たまたま開催されていたビアガーデンへ行き、地域の方々と交流したりして小国を満喫することができました。

小国公立病院の先生方、看護師の方々、5週間お世話になりました。ありがとうございました。

臨床研修医 米田 征義

歯科研修

臨床の現場に触れて学ぶ

人吉医療センター歯科口腔外科は歯科衛生士学校の臨床実習施設でもあり、毎年多くの実習生を受け入れておりますが、今年は熊本歯科衛生士専門学院の吉川幸長君が実習先として当科を選んでくれました。

当科歯科衛生士や歯科医師の指示のもと臨床の現場に触れてもらい、実習初日より現場ならではの雰囲気、仕事の流れを学んで頂きました。

吉川君は熊本歯科衛生士専門学院では初の男子学院生であり将来が大変期待されます。

吉川君、立派な衛生士さんになれるようこれからも頑張ってください！

歯科口腔外科センター 中村 康大



全身麻酔下手術の介助にもついてもらいました。

8/28
～9/1

リハビリテーション実習

初めての見学実習は、最初は不安で緊張しましたが、理学療法士の先生方が丁寧に色々なことを教えてください、とても心強かったです。学校の授業だけでは経験することのできない実際の現場の雰囲気や、患者様とのコミュニケーションなど、多くのことを学ぶことが出来ました。

専門的な知識がほとんどない状態で見学実習に臨んだこともあり、分からないこともありましたが、指導者の先生方が細かく丁寧に教えてくださったことで自分の課題を見つけることもできました。

一週間という短い期間でしたが、先生方から多くのことを学び自分に足りないものが明確になりました。

この見学実習で学んだことを次の実習で生かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

熊本駅前看護リハビリテーション学院
理学療法学科一年 穴井 優花



リハビリテーションの実習に来られた穴井さん。
ご自身が、ケガで当院のリハビリを
受けられた経験から
理学療法士を目指して頑張られています。

8/22

『天使のちえぶくろ』

慈光こども園子育てサークルフォーリーブス室にて
当院の出前講座「天使のちえぶくろ」が行われました。

今回は小児科の谷口医師より『乳幼児の病気について』と題して、インフルエンザやRSウイルス感染症、腸炎など病気の概要と予防方法、発熱・痙攣・下痢・嘔吐などを起こした際の処置や観察のポイントについてお話がありました。参加者からは「体格の悩み」「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」「小児科の検査や受診方法」など乳幼児期に特有の病気や症状だけでなく、子育てに関わる幅広い質問がたくさん寄せられ、谷口医師も丁寧に回答していました。

乳幼児をもつ親が日々様々な不安や悩みを抱えながら子育てをしていること、そして子どもの体や医療について正しい知識を得ることで少しでも不安が和らぐということを実感する機会となりました。

また「正しい体温測定方法」や「高熱と重症度は相関しない」「ウイルスや炎症などの望ましい検査のタイミング」など我々にとって為になる知識も得ることができました。

講座後に参加者より感想をいただきましたので、以下に掲載いたします。



先生が優しく質問もできて
普段は聞けることのない
これから役立つ
お話が聞けて
とても勉強になりました。

分かりやすく教えていただいて
良かったです。
これから色々な病気に
かかると思いますが
今日学んだ事を活かして
対応していきたいです。

子どもの様子を
しっかり見ておくことが
大切だと改めて感じました。
またこういう機会を
作ってほしい。

知りたいけど
なかなか聞けない話を
していただけたので
とても有意義な
時間でした。

本講座は、病気や医療についての正しい知識を得ていただき、病気予防とともに、小児の急な発症などにも慌てることなく、正しい受診・受療に繋がれることを目的に行っております。また、当院では小児科以外にも幅広い分野で医師や各専門職種による講演活動を行っています。少しでも皆様のお役に立てればと思いますので、受講希望の方はどうぞ医療福祉連携室までお問い合わせください。

医療福祉連携室 南 秀明

退職医師 おつかれさまでした



この度9月末を持ちまして退職となりました、眼科の山下です。10月からは熊本赤十字病院で勤務することになりました。昨年4月に人吉へ来てから1年半と短い期間でしたが大変お世話になりました。

当院へ赴任する前は熊大病院、熊本市市民病院と医師もスタッフも多数在籍する施設に勤めておりましたが、今回初めて眼科医1人での診療でした。一人での職場に不安も多くありましたが、当院の皆様、近隣の医療機関の皆様にも協力いただき診療を行うことができたと思います。

私生活では昨年ダイエットのためにランニングを始めました。今まで幾度となくランニングを始めては三日坊主になっていましたが、今回はなぜか走る楽しさに目覚めてしまい1年以上続けてしまっております。

さらには勢いで今度の熊本城マラソンにエントリーしてしまいました。当選してほしいようなしてほしくないような複雑な心境ですが、出場できることになったら完走目指して頑張ろうと思います。

眼科 山下 俊一



2023年9月30日付けで退職となります、小児科柳邊秀一と申します。

人吉には昨年4月に赴任

しましたが、赴任後に宮崎県小林市での小児科開業を決意し、この度退職となりました。

初めての人吉で、家賃とガソリン代などの高さにビックリしましたが、温泉や食事は満喫でき、いい思い出です。

人吉医療センターは救急外来での初期対応を行うことが多く、成人に慣れていない状態で何処までやればいいのか判断が難しく、各科の先生方やコメディカルの方々には大変お世話になりました。短い間ですがありがとうございました。

小児科 柳邊 秀一

激流に乗ったり、振り落とされたり！

ラフティング部



ザブンとステキな
夏の思い出～



人吉・球磨地域でのアウトドアといえば球磨川下りやラフティングなどが有名ですが、今回研修医3名と薬剤師3名の合計6名とインストラクターさんでラフティングをしてきました。

今回のコースは球磨川の下流で流れも速くより楽しめるコースということで、流れが穏やかな静場では水の中に入りゆっくり流されて、流れの激しい瀬ではボートから振り落とされたり大きな波に乗ったりして、最後は飛び込みスポットもありそれぞれが楽しめるラフティングでした。

機会があれば、みなさんもぜひ参加してみてください。

臨床研修医 野口 実奈

全国ジュニアステージロードレース九州豪雨災害復興祈念 ツアーオブ九州2023「人吉ステージ」

トップクラスの高校生アスリートたちが人吉の街を疾走



令和5年8月19日に、『全国ジュニアステージロードレース 九州豪雨災害復興祈念「ツアーオブ九州2023」人吉ステージ』が人吉市市街地で開催されました。競技は人吉市街地を1周1.7km×20周する合計34kmの道のりで行われ、全国や韓国のトップクラスの高校生による熱いレースが繰り上げられました。

至近距離でレース観戦することができ、とても迫力満点で、一緒に観戦した息子も興奮しながら応援していました。

これからも様々なイベントを通じ、人吉の街が活気づくと嬉しいです！

医療福祉連携室 高橋 薫子

新任紹介



芝 祥子(医事課・クラーク)

趣味：ハンドメイドの子供服作り、布を見ただけでも癒されます

モットー：なるようになる

自分の性格：好きなことにはとことん打ち込むタイプ

自分のコマーシャル：初めての職種で不安ですが、仕事を早く覚えて頑張りたいと思います。
よろしくお願いします。

理 念 145年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療

患者の人権と意思を尊重します

診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア

地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成

地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

臨床研修理念

医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的役割を認識しつつ、臨床に必要な基本的診療能力を習得し、全人医療を提供できる医師を目指します。

臨床研修の 基本方針

1. 人間性豊かな医療人の育成
2. 医療全般にわたる広い視野と高い見識を持つ医療人の育成
3. 患者の立場に立った医療を実践する医療人の育成
4. チーム医療のできる医療人の育成

5. 生涯学習をする医療人の育成
6. 地域医療に貢献する医療人の育成
7. 公的中核病院としての責務を自覚する医療人の育成

